

由利本荘市「木の誕生祝い品」の紹介

由利本荘市では、平成30年4月2日以降に生まれた赤ちゃんに、地元の木を活用し地元の職人が製作した木の誕生祝い品を贈呈しております。これまでに「誕生祝い品」として採用された製品を紹介します。

現在贈呈されている製品

おむすびころりん

製作事業者：木楽工房

「見てにっこり、触ってほっこり」

無垢の秋田杉の手触りや香り、音を五感で感じ取れる優しい積み木。

米どころ由利本荘をイメージしたおむすび型。

秋田杉ならではの源平材（心材と辺材の境）を使用。

六角形の枠を付属し、音を出したり、転がしたり、

模様合わせにしたり…遊びの幅が広い一品。



よちよちとりっこ キジ

製作事業者：木工舎つきのわ

遊んで楽しい、飾ってかわいいおもちゃ。

由利本荘市の木「けやき」、市の鳥「キジ」を、

身近に感じて欲しいという願いを込めて。

車輪に角度を付けて取り付けられているため、

しっぽを持って引けば「よちよち」歩く。

胴体内部に小豆が入っているため、振れば音を出し、

ベビーラトルとしても遊べる。



過去の誕生祝い品

ちょうかいどみの

製作事業者：横山木工所

由利本荘市の木に定められている「けやき」のドミノ。

通常のけやきに加え、「埋もれ木」のけやきを使用しており、

橙色と褐色、2種類の彩りを楽しめます。

シンプルな台形の形を生かし、線路やさかなに見立てて

遊ぶこともできます。

